



漢字指導での実習生の作品「令和」

世の中は4月末からの史上初の10連休、30年ぶりの御世代わりなど、非日常的な事柄続きの5月の幕開けとなりましたが、アジ研は、例年通りゴールデンウィークとは無縁の通常授業。それでも、元号が「へいせい」から「れいわ」に変わったことも、授業で扱うまで知らなかった実習生が多かったのには驚きました。誰もがスマートフォンを持ち、インターネットさえあれば、簡単に母国の家族や友人と繋がることができ、母国のニュースなどの情報にも直ぐにアクセス出来る時代になった今、日本にいながら、日本の情報に関心が薄い実習生が多いことを実感させられました。これは、日本語を教える私達にとっては、実に由々しき現実です。第二言語習得には、単にその言語の言葉や文法を学ぶだけでなく、その言語が話されている国や人々の文化・習慣を学ぶことも大切だからです。そして、それが出来るのが、現地でその言語を学ぶメリットでもあるからです。今後とも「日本で日本語が学べる」という実習生の皆さんの立場を最大限に活かした、効果的な日本語指導に取り組んでいきたいと思えます。

あじけんスコープ Vol.74

講師ファイル：高島 郁美

初めまして。高島郁美(たかはた いくみ)と申します。本学院へ通っている実習生とは、実習先へ行くまでの1ヶ月という短期間しか一緒に学習できませんが、実習生の皆さんは、希望に満ち溢れ、自分達の目標に向かって頑張っています。そして、その意欲に私自身、毎回驚きを隠せません。また、「母国にいる家族を幸せにしてあげたい」と心温まる言葉を耳にするたびに、その向上心溢れる彼らに、どのように日本語を学ばせてあげられることができるのか、何を感じさせてあげられるのかを常に考えて、授業を組み立てています。その中で、私は、学習者が積極的に話をしたくなるようなクラスの雰囲気作り、分からないことがあれば、遠慮なく質問できる講師と実習生との信頼関係の構築、この2つがとても大切だと感じています。その為に、日々の授業では、クラスメイトと一緒に学習出来るグループワークを出来るだけ多く取り入れたり、実習生の皆さんとのコミュニケーションの時間を出来るだけ多く持ったりすることを心掛けています。まだまだ、経験不足なので、思うように授業を進められないことが多いのですが、実習生と共に成長しながら、少しでも指導技術を向上させていけたらと考えています。



今月の実習生



今月は日本語講習を無事修了し、配属前夜に自分達の手作り料理で盛大に！お別れパーティーを行っていたベトナム人実習生の皆さんを紹介します。

この日は、毎月数回、不定期に行っている夜間の寮の見回りの日でした。ピンポン♪と部屋の呼び鈴を押すと、部屋の中からは何やら賑やかな声！ドアを開けると目の前に、鮮やかに盛り付けられた美味しそうなベトナム料理が目飛び込んで来ました。彼女達の専門は食品加工！流石の料理の腕前に、感心させられました。

みなさんこんにちは。わたしたちは、あしたかいしゃにいきます。8人はおなじかいしゃですが、ちがうおみせにいきますから、きょうがみんなとさいごのよるです。ですから、みんなでパーティーをすることにしました。VU THI MINH CHAU (チャウさん)

(向かって左から3番目の白いボーダーのセーターの実習生)

あじけん流日本語授業

～習字体験を取り入れた漢字指導～

今月は、令和元年5月1日に行われた、習字を取り入れた漢字指導の授業の様子をお届けします。本校の技能実習生のクラスで習字指導を行うのは初めての試みだったので、上手く指導できるのか？実習生は興味を持って取り組んでくれるだろうか？実習生には難易度が高すぎるのではないかな？等、実施に当たっては不安もたくさんありましたが、御世代わりがあったこの日に、実習生の皆さんが、日本の元号が平成から令和に代わったことを学び、その記念すべき日に、実際に「令和」の字を墨滴で書き記すことは、今後の日本語学習にも必ずプラスに働くだろうとの思いから実施に踏み切りました。

実際にやってみると、当初の不安とは裏腹に、実習生のみなさんは、興味津々。講師からの元号についての説明や、毛筆の指導に耳を傾けていました。そして、いざ実践練習に入ると、出来るだけお手本に忠実に書き上げようと、熱心に筆を取っていました。出来上がった作品も素晴らしく、こちらの想像を上回る出来栄えに驚くばかりでした。実習生の皆さんからも、「習字はとても面白かったです」「漢字の勉強は楽しいです」との好意的な感想がたくさん聞かれたので、今後、「危険」や「安全」、「禁止」等の漢字表記の定着に習字指導を取り入れていきたいと考えています。



先生の説明に従って筆順の練習をする実習生の皆さん



先生のお手本を見つめる実習生の皆さん



慎重に、筆を執る実習生は真剣そのもの



自慢の作品を手に記念撮影！

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます